

# つくる会 FAX 通信

第 470 号 令和 7 年 (2025 年) 6 月 2 日 (月) 送信数 3 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

## 令和 7 年度定時社員総会を開催 藤岡信勝、茂木弘道両副会長が退任 追加新理事 10 名、6 部会制導入で再始動を宣言

新しい歴史教科書をつくる会は、5 月 25 日、都内で令和 7 年度定時社員総会を開催しました。

14 時からの総会では、昨年の「つくる会」にとって 7 度目の採択戦の結果報告とともに、藤岡信勝副会長から、設立以来 28 年間の運動の総括がなされました。また、当会の教科書改善運動の社会的使命を改めて確認し、今後の運動の指針とそれに必要な組織の改編について提案がなされました。

今後の方針としては、これまでの教科書を「つくる」ことに留まらず、それを採択とは直接関係のない場所（塾や勉強会など）での活用を広げること、また、採択数増のための取り組みを強化すること、さらにはそれらを支える安定的な組織体制の構築、などが示されました。

上記方針を実行していくため、新たに下記のとおり 6 部会を設置し、10 名の理事を新たに迎えて活動を推進していくことが提案され、承認されました。またその中で、藤岡信勝、茂木弘道両副会長は 80 歳を超えたことを理由として退任の意向が発表されました。

最後に、国民へのアピール（案）が新理事の関道子氏によって朗読され、満場一致で採択されました。

### ●新組織概要

#### <6 部会>

教科書制作部会（伊勢雅臣部会長）／教科書活用部会（安達弘部会長）

教科書採択部会（土屋敬之部会長）／組織部会（込山久夫部会長）

研修部会（金子宗徳部会長）／財務部会（諸橋茂一部会長）

#### <新理事>

伊勢 雅臣（NPO 法人歴史人物学習館理事長）、込山 久夫（現東京支部長）

田辺 眞一（会社経営・未来創生倶楽部会長）、田沼 隆志（元衆議院議員）

山本 閉留巳（元港区議会議員）、田中 宏道（全日本私塾教育ネットワーク理事長）

山近 義幸（株式会社 NIHONDO 代表）、田村 匡俊（元公立小学校教諭）

野伏 翔（映画監督） 関 道子（会社経営）

以上 10 名

#### <新顧問>

柳内 光子（会社経営）、豊島 邦博（副住職・港区議会議員）

#### <退任>

## 多くの出席者で賑わった「懇親の集い」

総会後に開催された「懇親の集い」は、例年にないほどの多数の出席者となりました。国会議員、地方議員のご出席は総勢で21名にのぼり、さらに支援者や有識者の皆様からもご祝辞や教科書改善運動へのエール、決意表明をいただき、大盛会裡の中、終了となりました。

ご多忙の中でご出席いただいた皆様、また祝電・メッセージを賜りました皆様には、心より御礼申し上げます。

「つくる会」は、国民へのアピールのとおり、まだまだその社会的使命を終えていません。会員、支援者の皆様には、今後ますますのお力添えを賜りたく、よろしくお願いいたします。

### <ご出席の国会議員（含前職）・地方議員>

山田宏（自民党・参議院議員）、鈴木隼人（自民党・衆議院議員）  
代理、中田宏（自民党・参議院議員）代理、和田政宗（自民党・参議院議員）代理  
長尾たかし（自民党・前衆議院議員）、杉田水脈（自民党・前衆議院議員）代理  
青木仁美（参政党・新宿区議会議員）、岩田まさかず（無所属・江戸川区議会議員）  
荻野綾香（参政党・品川区議会議員）、折本たつり（無所属・千葉県議会議員）  
坂田れい子（参政党・板橋区議会議員）、田中ゆうたろう（無所属・杉並区議会議員）  
とよ島くにひろ（参政党・港区議会議員）、中村知也（無所属・秦野市議会議員）  
中村実（千葉県議会議員）、名取顕一（自民党・文京区議会議員）  
村松裕美（無所属・甲府市議会議員）、吉田ゆきこ（参政党・江東区議会議員）  
吉田あい（自民党・杉並区議会議員）、若松博（参政党・八千代市議会議員）  
(敬称略)

### 祝電・メッセージ

山谷えり子（参議院議員）、西田昌司（参議院議員）、佐藤まさひさ（参議院議員）  
中田宏（参議院議員）、杉田水脈（自民党・前参議院議員）、村松英子（女優）  
(敬称略)

### <祝辞・スピーチ>

阿羅健一（南京研究家）、小山和伸（(一社)メディア報道研究政策センター理事長）  
掛谷英紀（つくば大学准教授）、熊坂隆光（元産経新聞社長）、但馬オサム（評論家）  
田中秀雄（日本近現代史研究家）、堀口文良（(一社)皇統を守る会副会長）  
マックス・フォン・シュラー小林（歴史研究家）、楊海英（静岡大学教授）  
(50音順・敬称略)

## 国民へのアピール

新たなステージに入る「つくる会」活動へご支援を！

戦後我が国はGHQの統治政策により、自虐史観（GHQ史観）を徹底的に刷り込まれ、それにより我が国はあるべき人間教育と歴史教育を長年にわたり怠ることとなりました。同時に、経済的な発展と3Sに代表される享樂的な文化の浸透、また行きすぎた個人主義教育により、和を尊び国家や社会への奉仕を美德とする、日本人の伝統的精神は次第に廃れていきました。さらに過度な個人主義の台頭は、所属企業への貢献意識や一体感を希薄化させ、日本の経済力はこの30年間、低下の一途をたどりましました。

そうした中、昨年は「つくる会」にとって実に7回目となる教科書採択の年で、平成21年の横浜市以来となる公立採択地区での採択を勝ち取ることができました。私学や県立中学校においても歴史・公民併せて8校から採択を頂きました。このように、少しずつではありますが、私どもが展開する「教科書改善事業」は我が国に着実に浸透しつつあります。

一方で、これまでの28年の歩みを振り返った時、私たちが推進する『新しい歴史教科書』『新しい公民教科書』の普及については、前出の平成21年の採択率（1.1%）が最も高く、発足当初の目標である「採択率10%」には遠く及んでいないことも事実です。

私たちは、この大きな課題の克服のため、昨年の採択終了時より当会がこれからはすべきことについて見つめ直しました。そして次の新たな方針の下、それを実行するために組織改編を実施し、また多くの新任理事を迎え、具体的な取り組みをスタートさせました。

1. 授業作り…正しい歴史認識に基づく歴史教育。年号の暗記にとどまらない歴史と誇りを学ぶ授業の実践と成果の見える化。モデル授業などの機会創出
2. 教材作り…正しい歴史認識に基づく授業の実践を通じた教材作り。戦略的な検定合格ゾーン是正。教科書としての情報クオリティのさらなる向上
3. 歴史戦…歴史プロパガンダの駆逐。他社発行の偏向教科書の是正。正しい歴史の発信機会を質量共に増強し、その認識を強化していく活動
4. 発信・採択・支部活動…質・量共に発信力を強化した発信メソッドの確立。支部による最新情報の収集と地域採択活動の強化。広報活動の強化による「つくる会」の認知度向上
5. 組織・財務基盤…分担と連携を強化する組織体制、持続可能な収支構造確立

「つくる会」運動は前記の5つの目標を掲げ、新たなステージに入ります。まだまだ私たちの社会的使命は終わりません。国のため国民の皆様のため、会員一同熱い想いを胸に、真摯に活動を続けてまいります。

国民の皆様におかれましては、私たちの今後の活動にご理解をいただき、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年5月25日

一般社団法人新しい歴史教科書をつくる会  
令和7年度定時社員総会